
はじめに

共働き世代の増加など家族の在り方が変化する中、男性の家事や育児への参加を推進するなど、性別に関わらず、個人がその個性と能力を十分に発揮で生きる社会をつくることが重要です。

和歌山県では、和歌山県男女共同参画推進条例(平成14年施行)に基づき、第4次和歌山県男女共同参画基本計画(計画期間：平成29年度から平成33年度)を策定し、「男女共同参画でつくる元気な和歌山」の実現に向け総合的・計画的に施策を推進しているところです。

本書は、和歌山県男女共同参画推進条例第17条の規定に基づく報告書として、令和元年度における本県の男女共同参画施策の実施状況や県民の皆さんの取組状況などを取りまとめたものです。

令和元年度における数値目標の進捗を見ますと、「女性活躍企業同盟」参加企業・団体数や、男性の育児休業取得率といった項目が大幅に伸び、また、大学に進学する女性の割合等も伸びています。これらのことから、女性の活躍に対する関心の高まりや男性の育児への参加意欲が向上していることに加え、女性の社会進出が着実に進みつつあるといえます。

一方で、男女の地位の平等感については、社会通念・習慣・しきたり等のほか、社会全体で男性が優遇されていると感じている方の割合が高いことから、男女の役割分担の固定的観念等が依然として強く、啓発も含めこの部分での対策強化が必要です。

令和3年度には現行の第4次計画を改定することとなっており、今回の結果を参考にし、女性にとっても男性にとっても、楽しく暮らしやすい「元気な和歌山」の実現に向け、引き続き様々な取組を強力かつ効果的に進めていかなければならないと考えています。

本書を通じて、県民の皆さんに男女共同参画の現状や県の施策に関する理解と認識を深めていただくとともに、職場、学校、地域、家庭における男女共同参画社会づくりに向けての一助としていただければ幸いです。

令和3年(2021年) 2月

和歌山県環境生活部長 田中 一寿